

田舎で働き隊！ (農村活性化人材育成派遣支援モデル事業)の取組について

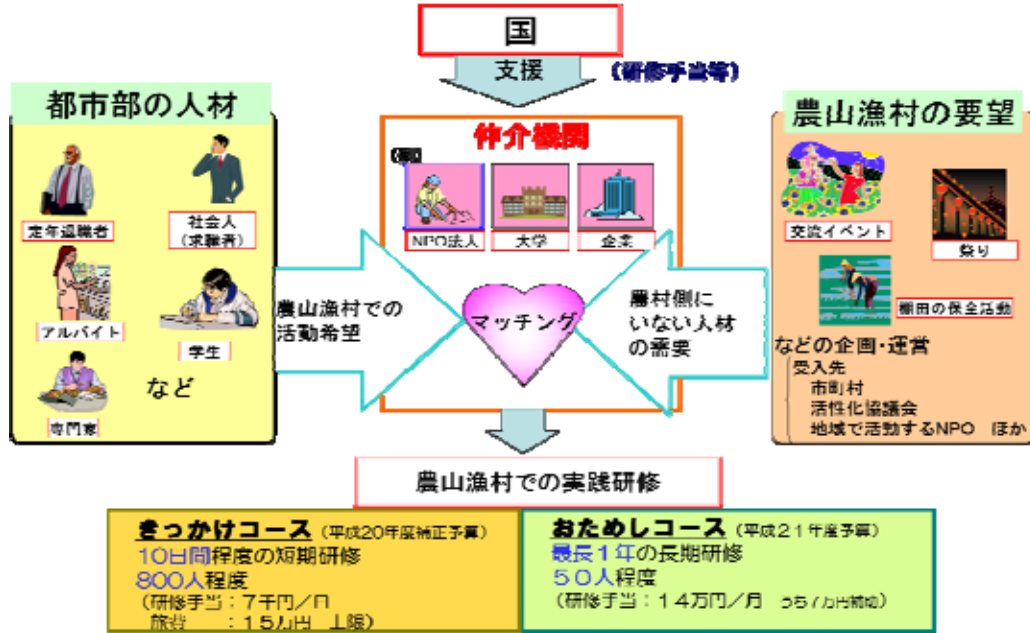
「田舎で働き隊！」事業は、田舎で働きたい都市部の人々と人材を受け入れたい農山漁村をとりもつプロジェクトです。

都市部の人々に農山漁村の暮らしを体験してもらい、将来、定住したり、地域を活性化させるリーダーとなる人材を育成することを目的としています。

平成20年度第2号補正予算に基づき、3月に行われた10日間程度の短期研修（「きっかけコース」）には、NPO法人や大学、企業など69団体が事業実施主体として農山漁村の活性化にかかる活動研修を実施し、延べ2,479人の参加がありました。

なお、平成21年度予算に伴う「おためしコース」には、11団体が取り組むこととなっています。

「田舎で働き隊！」事業（農村活性化人材育成派遣支援モデル事業）の仕組み



事業実施主体内訳（「きっかけコース」）

事業実施主体	数
NPO法人	32
営利法人	23
公益法人	4
観光協会、大学法人、任意団体	各2
農業協同組合、農事組合法人、商工会、社団法人	各1
合計	69

事業実施後の効果等

参加した研修生からは、「イメージを現実的なものとして体験できた」、「今後も長期的な研修に挑戦をし、経験を積みたい」、「農村地域での定住・雇用を考えたい」などの声が寄せられました。

このことから、短期研修を通じた人材育成の成果は顕著であり、これらの人材が更なる定住（雇用）へとつながることが期待できます。

受け入れをした農山漁村側についても、「今後、引き続き都市部の人材の活用に期待したい」、「是非受け入れを希望したい」との声が多く寄せられました。

また、事業実施主体が行ったアンケートの中には、今回の農村研修への参加を通じ、「長期研修を希望する」といった意向が、実施前26%に対し、研修終了後では59%に上昇したという例も報告されています。

研修前 長期研修も視野に入れて参加したい (26%)



研修後 すぐにも農村で長期的に働きたい (9%)
ぜひ長期研修を経て備えたい (50%)

農・林・漁の多様な研修プログラム(例)

トマトやアスパラ、有機米作り、収穫を左右する地道な春作業体験！



研修生

- ・喜多方で就農予定の千葉県出身の男性
- ・Uターン就農を希望の男性
- ・農業に興味のある転職活動中の女性
- ・田舎暮らしを希望する予定
- ・喜多方に移住予定の男性 等

受入先

- ・蒲生農園(有機農法と食品加工)
- ・チェリートマトの栽培農家
- ・アスパラガス農家
- ・米とトマトの栽培農家 など...

研修場所: 福島県喜多方市

地域資源活用の先進地で元気で自由な農業者に会えた！！

研修生	<ul style="list-style-type: none"> ・林業を学ぶ女子学生 ・東北へのUターンを検討中の神奈川県在住の女性 ・仙台出身・首都圏在住の大学生 等
受入先	<ul style="list-style-type: none"> ・稲作と畜産を営む“愛郷愛土の遠野人” ・NPO法人 遠野山・里・暮らしネットワーク ・稲作の他、有機野菜の栽培を行う農家 ・グリーンツーリズムとの連携や、農業参入でシイタケ栽培に携わるドライビングスクールなど...



研修場所: 岩手県遠野市

仲介機関: プロジェクト地域活性

研修生・受入先双方の声

農事組合法人「守山女性部加工組合」 代表理事 馬場節枝さん
(長崎県雲仙市吾妻町)

これまでも大学生を農業体験などで受け入れてきましたが、今回訪れてくれた研修生7人との交流はひと味違いました。

研修生たちは全身筋肉痛になりながらも、「雲仙こぶ高菜」の漬物作りに打ち込み、お昼も私たちと同じ食事を取りました。きれいな厨房で料理教室をしたりはせず、ずっと加工所で働いてくれました。

売り物を扱うだけに、みな真剣で一生涯懸命さが伝わってきました。

また、発表で提案してくれた「案内板」についても今、看板屋さんと設置費用を相談しています。

研修生が残してくれた「成果」を無駄にしないよう、頑張りたいと思います。

研修は終わりましたが、これからが始まりです。

その後、研修生とはEメールやブログで情報を交換しています。物産展などで上京した際は、必ず研修生に連絡をして会おうと思います。

人の輪をもっと大事にしていきたい。「雲仙こぶ高菜」を応援してくれる人との「線」を「大きなパイプ」にしたいのです。

私たちにとって研修生たちは、実の息子、娘と同じ存在なのです。



研修参加者の声

「守山女性部加工組合」(雲仙市吾妻町)での研修を終えていまい一番思うことは「郷土愛の強さ」です。

自分の町に来て魅力を知ってほしい、という熱い思い、地元にあるものに対しての誇りを強く感じました。

守るべきものは守り貫きながらも、いいものは吸収しようとする柔軟さも兼ね備えていました。

まさに、女の「チカラ」を見た気がしました。

加工組合のおばちゃんたちが毎日、こぶ高菜饅頭を作っていました。

初日に、最高齢のおばちゃんが饅頭の生地を丸める作業を見学しました。

「長年の感覚」を頼りに器用に指を動かし、すごいスピードで生地を約30gずつに丸めた。

誤差はわずか1、2g。

研修生みんなが「えー」

「ウオー」と驚きました。

お土産にももらったこぶ高菜まんじゅうを2人の娘が先を争うようにおいしそうに食べて、瞬く間に完食。

こぶ高菜の葉と手作りこんにやくは白和えにして食べました。

あと、塩茹でしたこぶ高菜の葉と納豆をあえて、焼いたうす揚げに入れて食べました。

「今度は馬場さんのところで食べようね。そっちが絶対においしいから」と娘2人に話しました。

3泊4日の研修期間中、子ども2人を義理の母に預けて参加しました。

毎日のように「子どもたちは大丈夫とね」と心配してくれた加工組合のおばちゃんたち。

「今後は子どもを連れて家族でおいでね」といわれました。

必ず連れていきますね。



仲介機関: 九州のムラたび応援団

平成21年度子ども農山漁村交流プロジェクトの受入モデル地域が決定！

農林水産省、総務省及び文部科学省では、全国の小学生が農山漁村で1週間程度の自然体験・集団宿泊体験活動を行うことを目指し、平成20年度から「子ども農山漁村交流プロジェクト」を推進しています。2年目となる今年度は、新たに26の受入モデル地域を選定し、受入活動を活発化させていきます。

先導型受入モデル地域：既に受入体制にあり、他の地域への指導を行う地域
 体制整備型受入モデル地域：今後、受入体制整備を進める地域

: 先導型
 : 体制整備型

秋田県大潟村
 新生の大地大潟村体験推進協議会

子ども長期自然体験村、生活体験事業など経験も豊富。大潟村の資源を活かした学習効果のあるプログラムを提供します。国営千拓事業によって日本第2の湖八郎潟を開拓して出来た村です。

【連絡先】大潟村産業建設課
 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-1
 TEL: 0185-45-3653

山形県飯豊町
 めざまみの里グリーン・ツーリズム推進協議会

全国にも珍しい田園散居集落が広がっており、その景観は見事。あぜの草刈り体験、笹巻き作り体験、もちつき体験、稲刈り体験、郷土料理体験、そば打ち体験など、農家の人に触れる機会をできるだけ多く提供します。

【連絡先】飯豊町産業振興課
 山形県西置賜郡飯豊町大字袴2
 TEL: 0238-73-2111

新潟県阿賀町
 奥阿賀地域グリーン・ツーリズム推進協議会

小中学生の受入を中心に体験教育旅行やグリーン・ツーリズムに取り組んできた実績をもとに、冬季の雪国体験など特色ある体験プログラムを提供します。

【連絡先】NPOにいがた奥阿賀ネットワーク
 新潟県東蒲原郡阿賀町津川811
 TEL: 0254-94-1330

富山県黒部市
 くるべ都市農村交流実行委員会

農村文化伝承館山本家でのまき割り、かまどを使った自炊等を盛り込んだ、昔の農家泊をメインに、黒部の魅力満載の体験プログラムを用意しています。

【連絡先】黒部市農業水産課
 富山県黒部市宇奈月町山3353
 TEL: 0765-54-2111

長野県長野市
 長野市子ども夢学校受入れ協議会

大岡地区、鬼無里地区、戸隠地区など市内5地域での豊富な体験メニューを用意。豊かな自然を活かし、時期に即した農作業と田舎生活を提供します。

【連絡先】社団法人長野市農業公社
 長野市大字中御所字岡田131-14
 TEL: 026-227-1650

北海道～北陸ブロック

青森県黒石市
 黒石児童自然体験協議会「まほろば学校」

豊かな自然の中での農作業体験や地域の山、川、水に触れることで、食や命の大切さを伝えます。味の良い「黒石米」と「黒石りんご」の名産地です。

【連絡先】津軽山形グリーン・ツーリズム研究会
 青森県黒石市大字温湯字派15-1
 TEL: 0172-54-8504

北海道豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町・伊達市
 豊浦・洞爺湖子ども農山漁村協議会

北海道でもここでしか体験できない「豊浦町・洞爺湖」を中心とした地域の特色ある体験や、地域の方と交流のできる体験など特色のある体験を提供します。特に漁業体験には力を入れています。

【連絡先】NPO法人自然体験学校
 北海道虻田郡豊浦町幸町1-1
 TEL: 0142-83-7040

岩手県久慈市
 ふるさと体験学習協議会

自然豊かな山々に囲まれた美しい農山村。白樺林と豊かなブナ林、自然放牧の短角牛、豊かな伝統食文化、炭焼きなどが特徴。独自の山村文化、農林業体験、自然をありのままに味わうシャワーランニングなど地域資源を活かした体験プランを提供します。

【連絡先】ふるさと体験学習協議会事務局
 岩手県久慈市川崎町1-1
 TEL: 0194-52-2168

岩手県田野畑村
 体験村・たのはた教育旅行受入協議会

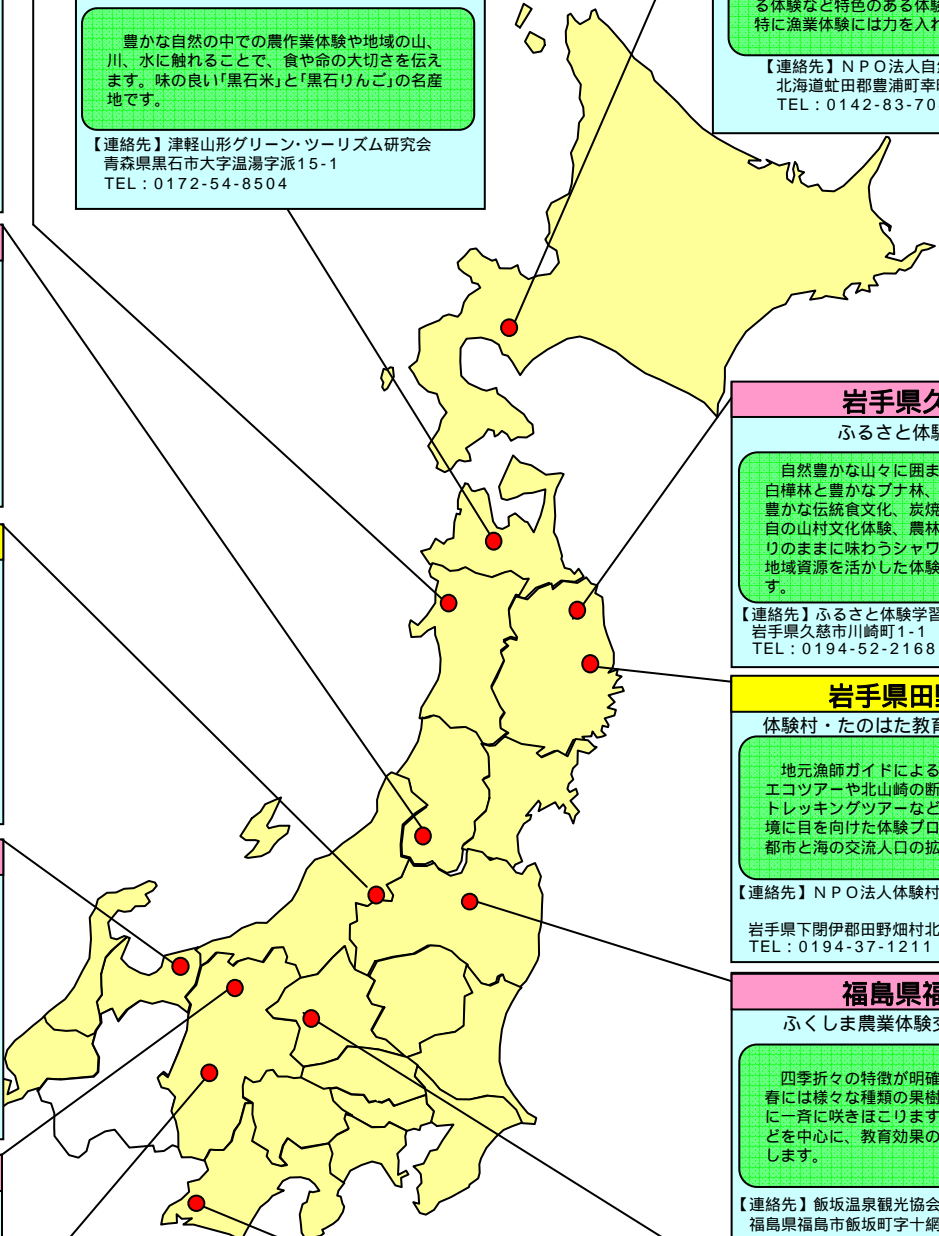
地元漁師ガイドによるサップ船を使ったエコツアーや北山崎の断崖と海岸線を歩くトレッキングツアーなどの「地域の営みと環境に目を向けた体験プログラム」を通して、都市と海の交流人口の拡大を図っています。

【連絡先】NPO法人体験村・たのはたネットワーク
 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
 TEL: 0194-37-1211

福島県福島市
 ふくしま農業体験交流推進協議会

四季折々の特徴が明確な自然豊かな地域。春には様々な種類の果樹の花が果樹園一体に一斉に咲きほこります。果樹農業体験などを中心に、教育効果の高いプランを提供します。

【連絡先】飯坂温泉観光協会
 福島県福島市飯坂町字十綱町3
 TEL: 024-542-4241



長野県駒ヶ根市
 駒ヶ根市ふるさと子ども交流推進協議会

駒ヶ根市のグリーン・ツーリズムの核となる農林業宿泊体験施設駒ヶ根ふるさとの家を中心に、里山登山、きのこ採り体験など長野県の里山での様々な体験をすることができます。

【連絡先】駒ヶ根市農林課
 長野県駒ヶ根市東伊那482
 TEL: 0265-82-8381

静岡県森町
 森町ツーリズム研究会

豊かな自然に囲まれ、ゆったりとした時間が流れる森町。豊かな地域資源を活用した、地元農家での農林業体験・農村生活体験、「食」体験などができます。

【連絡先】森町体験の里「アクティの森」
 静岡県周智郡森町問詰1115-1
 TEL: 0538-85-0115

群馬県上野村
 上野村長期宿泊体験協議会

上野村は、深い森林と穏やかな河川に恵まれた山村であり、体験学習に適したフィールドを形成しています。自然の姿をそのままに、特徴的なプログラムが実行可能です。

【連絡先】株式会社上野振興公社
 群馬県多野郡上野村大字川和665
 TEL: 0274-59-2111

東海～九州ブロック

佐賀県唐津市・玄海町

唐津・玄海体験型旅行受入推進協議会

体験型旅行の受入を促進することで域内産業の活性化、交流人口の増大を図るため設立。第3種旅行業登録済みです。唐津・玄海が持つ海、山、川などの豊富な自然や、古から伝わる大陸文化、町人文化など宿泊体験を通してまるごと感じて下さい。

【連絡先】社団法人唐津観光協会
佐賀県唐津市平野町1611-1
TEL: 0955-74-3611

佐賀県伊万里市

伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会

地域や個人でグリーン・ツーリズムに意欲的に取り組んでいる団体の窓口を一本化して発足。海あり、山あり豊かな自然や文化の体験を通じて、子供たちに感動を届けます。

【連絡先】伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会
佐賀県伊万里市立花町1355-1
TEL: 0955-23-2557

島根県邑南町・美郷町・川本町

邑智郡田舎体験交流協議会

「しまね田舎ツーリズム」の推進により、各地域で様々な形態でのグリーンツーリズムの取組が広がっています。農業体験、農家体験、郷土料理づくり、里山散策体験、ふるさと体験（神楽など）など幅広いメニューを揃えています。

【連絡先】邑南町定住企画課
島根県邑智郡邑南町矢上6000
TEL: 0855-95-2565

鳥取県鳥取市

五しの里さじ子ども体験協議会

人とのふれあいの中から都会と田舎の良いところをそれぞれに感じていただきます。「五しの里」（「梨」なし「和紙」わし「話」はなし「石」いし「星」ほし）に代表される地域資源を中心とした体験メニューを整備しています。

【連絡先】樹さじ式拾巻
鳥取県鳥取市佐治町加瀬木2519-3
TEL: 0858-88-0177

滋賀県日野町

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会

「売り手よし 買い手よし 世間よし」の三方よしの体験型観光を目指しています。農村生活体験など様々な体験プログラムを通じて、農村の暮らし、農業の今昔、人と自然のかかわり、食の安全と流通、自然の恵みなどを学びます。

【連絡先】日野町役場商観課
滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL: 0748-52-6562

三重県大台町

大台町地域づくり推進協議会

山村に残る暮らしの知恵や林業・農業の現状を学べる体験拠点として、多くの子もたちに学習の機会を提供したいと考えています。

【連絡先】NPO法人大杉谷自然学校
三重県多気郡大台町久豆199
TEL: 0598-78-8888

和歌山県日高川町

ゆめ倶楽部 2 1

「体験から交流へ、交流から定住へ」をテーマに事業を展開しています。豊かな資源（耕地、森林、日高川、渓谷、星空等）を存分に活用した「ロハスな体験」を満足いくまで体験できます。

【連絡先】ゆめ倶楽部 2 1
和歌山県日高郡日高川町大字高津718-3
TEL: 0738-54-0338

愛媛県西条市

西条市グリーン・ツーリズム推進協議会

地域資源の活用と農林水産業の活性化を目的にグリーン・ツーリズムを推進するために協議会を発足。「衣」・「食」・「住」に関する知識・体験を重視し、様々な体験活動を通じ、生活力を身につける機会を提供していきます。

【連絡先】西条市農業水産課
愛媛県西条市明屋敷164
TEL: 0897-56-5151

長崎県西海市

西海市ふるさと子ども夢学校受入協議会

農業、林業、漁業がバランス良く体験できる地域です。西海の風土に触れながら、ペロン体験をはじめ、季節での農業体験、漁業体験など用意しています。

【連絡先】西海市水産商観課
長崎県西海市大瀬戸町瀬戸榎浦郷2222
TEL: 0959-37-0071

愛媛県今治市・上島町

しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会

しまなみの地域ならではの「島」と「海」を最大限に活用し、教育的効果のある体験プログラムを提供していきます。しまなみ地域を「交流の島」として位置付け、「第2のふるさと」となれるよう受入を目指しています。

【連絡先】愛媛県東予地方局産業経済部今治支局
愛媛県今治市伯方町木浦4637-3
TEL: 0897-72-3343

宮崎県諸塚村

諸塚村観光協会

諸塚は、森と共生する文化と生活をまだ残しています。地域の人材や素材を子供たちが触れる機会をできるだけ多く提供します。10年以上の学校教育旅行の受入実績をもとに体制を立ち上げました。

【連絡先】諸塚村観光協会
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068
TEL: 0982-65-0178

鹿児島県伊佐市

伊佐地域ふるさと夢学校協議会

共生・協働のむらづくりの拠点として設置されたコミュニティ協議会が中心となり活動しています。訪れる子どもたちが、農作業等の生産活動や、地域の文化、人々との交流など地域に根ざした独自の体験を提供できるよう努めます。

【連絡先】平出水コミュニティ協議会
鹿児島県伊佐市大口平出水1358
TEL: 0995-22-2549

熊本県阿蘇市

阿蘇子ども農山村交流プロジェクト
受入センター

阿蘇地域は広大であるため、地域をブロック化し、その中で農家民泊や体験等を組み合わせたモデルプランを提案します。阿蘇の特性をいかした「あか牛」ふれあい体験・酪農体験・源流散策体験など特徴的なものが揃っています。

【連絡先】(財)阿蘇グリーンストック
熊本県阿蘇市の石1537
TEL: 0967-35-2488



農村振興局農村政策部都市農村交流課

担当：グリーン・ツーリズム班：03-3502-0030（ダイヤルイン）

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kodomo/index.html#model_sentei

事務局からのお知らせ

皆様からの情報提供をお待ちしております！

「交流情報誌 季刊 新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたら、ぜひご連絡下さい。

次号（第34号）の発行は、平成21年9月中旬を予定しておりますので、記入様式に必要事項をご記入の上、7月下旬までに各都道府県又は下記の編集・発行元までお送り下さい。記事に関連する写真・イラストがありましたら併せてお寄せ下さい。記入様式をご要望の場合は、お手数ですが下記の編集・発行元までご連絡下さい。

皆様からお寄せいただいた情報についてはできる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

編集後記

「日本の景観とまちづくりを考える全国大会」が開催されました

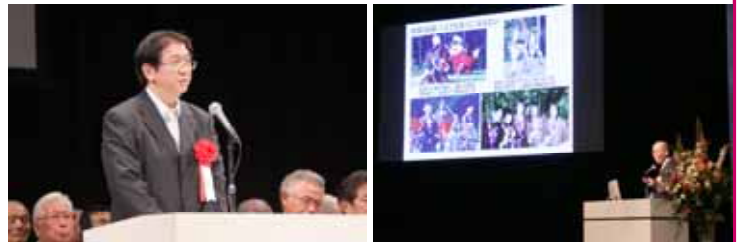
6月1日（月）、ニッショーホール（日本消防会館：港区虎ノ門）において、「日本の景観を良くする国民運動推進会議（会長：桜井正光）」主催による全国大会が、農林水産省、国土交通省、環境省の特別協力のもと、開催されました。

今年度からは、昨年6月に開催していた「日本の景観を良くする国民運動推進会議全国大会」と「まちづくり月間」中央行事とあわせて開催されたものです。

当日は、景観形成に関する行政者、企業担当者、NPO等全国から約750人が参加し、農林水産省からは、吉村農村振興局長が来賓として挨拶するとともに、第4回「美の里（びのさと）づくりコンクール」において農林水産大臣賞を受賞した岡山県美咲町の「境地区農業生産者組合」代表者の石坂徹泰氏から事例発表がありました。

美しい景観は地域の貴重な財産です。

まずは、皆さん一人一人が、自分の住んでいる地域を理解し、住みよい環境を整えていくことが、景観形成への取組につながっていくのではないのでしょうか。



冒頭挨拶される吉村農村振興局長

「境地区農業生産者組合」 石坂徹泰氏

特集記事募集

次号特集では、「農林水産物直売所を核とした取組」について募集します！
みなさまからの情報お待ちしております。



編集・発行

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村政策班

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-6001(ダイヤルイン)

FAX:03-3501-9580

- 農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

農林水産省（<http://www.maff.go.jp>） 農村振興 都市と農山漁村の共生・対流（季刊 新往来）
（<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>）